

START-UP! VOL.001 TAKE FREE

BSTJ

BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL



フランス伝統菓子とデリカのお店
TSURU CAFÉ (ツルカフェ)

住所 札幌市中央区宮の森2条5丁目2-8 1F
TEL 011-631-2626
営業時間 10:00~20:00(日・祝~19:00)
定休日 水曜日
アクセス 地下鉄東西線「西28丁目駅」から徒歩5分
ブログ <http://tsurucafe.jugem.jp/>
facebook TSURU CAFÉ



仲良く向き合う TSURU のロゴマークのドアが目印です。



NEWS

北海道信用保証協会からのお知らせ



12月6日イベント開催!



Start-up
Fes.
2014

創業王国・北海道

社長 is COOL!

主催：北海道信用保証協会

共催：札幌市、札幌商工会議所 後援：経済産業省北海道経済産業局、北海道中小企業支援ネットワーク、北海道ビジネス創造機構プラットフォーム、さっぽろ創業支援プラザ

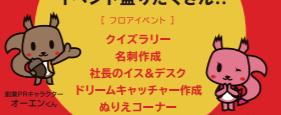
●問い合わせ先：
北海道信用保証協会 業務部 企業支援課 課担当：長谷川・小島 TEL.011-241-5605

詳細は、北海道信用保証協会のホームページを詳しくは、北海道信用保証協会 創業支援チームfacebookをご覗ください。

*掲載されているイベント内容、時間は予め変更になる場合があります。予めご了承ください。※費用負担はございませんので、ご来場の際は公共交通機関でお越しください。※イベント会場内での盗難・紛失・事故等に際して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



北海道のカッコイイ社長
15:10~



子供たちも楽しい!
イベント盛りだくさん!!
【フロアイベント】
トイズラリー
名刺作成
社長のイス&デスク
ドリームキャラチャーワーク
ぬりえコーナー

【ステージイベント】
SHAREシゴト創造部からの提言 13:10~
起業やすい土壤・北海道を目指して、コワーキングスペースSHAREで行った
シゴト創造部の活動内容を発表します。

輝く女性経営者たちのトークセッション 13:40~
北海道で活躍している女性経営者が、事業を行なううでのやりがい、苦労したこと、仕事と家庭の両立等について、トークセッションを行います。

【出演者】



北海道のカッコイイ社長
15:10~



【ゲスト】株式会社北海道フットボルクラブ
代表取締役 野々村 芳和氏(予定)
※場合によっては出演できないことがあります。

北海道のカッコイイ社長の代表として北海道フット
ボールクラブの野々村社長が、社長業の魅力、面白
さ、さらには、コンサドーレ札幌の運営等について
講演を行います。

START-UP! BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL VOL.001

北海道信用保証協会 業務部 企業支援課
札幌市中央区大通西14丁目1 TEL. 011-241-5605
<http://www.cgc-hokkaido.or.jp/>



facebook
北海道信用保証協会
創業支援チーム



2014.10.31

START-UP! STORY TSURU CAFÉ 「鶴岡綾子さんの創業物語」

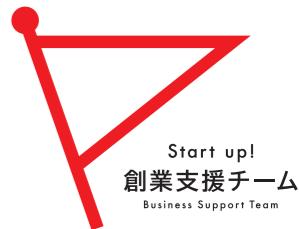
2014年2月にオープンした
フランスの伝統菓子とデリカのお店「TSURU CAFÉ」。
オーナーの鶴岡綾子さんに創業までの物語、そして未来への想いを
お聞きしてきました。

鶴岡綾子さんの創業キーワード

Start-up! Keyword

出会い

ひとつの創業には、
たくさんの物語がある。



START UP Question?

事業内容の紹介

TSURU CAFÉ Data

気軽にフランス菓子を楽しめる、温かい空間を作りたい。
たくさんの方の協力で、思い描いた空間ができました。

地下鉄西28丁目駅から歩いて数分、宮の森の住宅街を通り山の手通りに面した「TSURU CAFÉ」。鶴岡浩行さん、綾子さん夫妻が営むフランスの伝統菓子とオリジナル菓子、そしてデリカテッセン（欧風惣菜）のお店です。浩行さんがキッシュやサンドイッチなどのデリカテッセンを、綾子さんがお菓子全般をつくりています。

オープンは2014年2月6日の鶴の日。「気軽に覗いてもらえるお店を」と、あえて親しみやすい店名選び、鶴のシルエットを模した美しいデザインを随所に使っていいます。白を基調にした



これまで地縁のなかった
札幌での独立を決めたのは、移住後に出会った
さまざまな方々のお世話になり、
心の通ったあたたかい交流があったからこそ、です。

綾子さんは静岡県の出身。大阪の調理製菓専門学校で学び、フランス、東京、大阪でフランス菓子を中心に修業。釧路出身の浩行さんと出会い、2010年に札幌に移住。先輩の菓子店を手伝いながら、独立の意志を固めたといいます。「故郷での独立も考えましたが、友達がない札幌でいろいろな出会いがあり、みなさんに良くしていただきました。出会った方々と区切りをつけ、別な場所での独立は考えにくかったんです。その方たちは、今でも応援してくれています。」

思いをカタチにすることは、そう簡単ではありません。同年代で感性を共有できる建築家、五十嵐雄祐さんとの出会いは、ふたりの夢を実現する大きな力になりました。実は理想の物件がなかなか見つからず、現在の場所が決まるまで約10ヵ月も要したそうです。独立への思いが揺らいだ時期もありましたが、「その分、五十嵐さんと私たちの間でしっかりイメージのすり合わせができる

創業の動機や経緯について

独立で輝く先輩の姿を間近で見て、自分の店づくり、商品づくりをするやり甲斐に惹かれました。

お店が持てたら…という漠然とした夢はあったという綾子さん。浩行さんとの出会いで夢は少しずつ動き出し、具体的に独立の意志を固めたのは2012年のこと。「先輩の独立にオープニングから携わり、自分も挑戦してみたいと思うようになりました」。2013年に入ると綾子さんは仕事を辞めて、準備を開始。浩行さんは独立まで働き続け、綾子さんの思いを後押しし、思い描いた空間を作り上げました。



▲ひとつ、ひとつ丁寧に。ここから新しいお菓子が生まれます。

創業時の苦労・悩み・解決方法について

資金面では苦労がありました。
譲れない部分と譲歩しても良い部分とを整理するのは大切なことだと思います。

「大変だったのは、物件探しと資金面です」。長い時間をかけて見つかった物件は、希望の坪数よりも広く、予定より多く費用が必要でした。「私たちは自己資金が少なく、満額は借りられなかつたので、建築家の五十嵐さんに相談して譲れない点と譲歩できる点を整理。削れるところは徹底して削り、自分たちでできるところは自分で手をかけるなど、知恵を絞っていただきました」。



▲創業時から一緒に店づくりをしてくれた五十嵐さんへの感謝の思いを込めたケーキ「y」イグレック。

経営において心がけていること

経営者の自覚はまだたりませんが、
良いものをつくっていくことを大切にしています。

「正直なところ、まだ経営者の自覚は足りず、職人としての気持ちが大きい」と話す綾子さん。「良い食材を選び、丁寧な商品づくりをすれば、お客様には伝わるはず。飽きさせないための新商品づくり、そのための努力も重ねていきたい。そして、自然体で親しみやすい雰囲気づくりも心がけています」。



▲お店のおススメ。思いを込めて作っている「TSURU」。一番人気です。

START-UP! Advice!



強い気持ちで、
出会いを大切に！

by 鶴岡綾子

大切なのは強い気持ちです。独立準備中は建築家、不動産会社、銀行との打ち合わせなど、自分たちの「思い」を伝えるという場面が多くありました。なぜ独立するのか、どんなお店をやりたいのか、この金額は妥当なのか…。理想の店づくりのために、相手に理解してもらわなければなりません。しっかりと気持ち、「思い」がなければ相手に伝わりません。思ひがけないハードルも多く、気持ちも揺れがちです。強い気持ちがあれば、自然と次の行動につながっていきますし、解決する道を示してくれる出会いもあるはずです。

Start-up! Keyword

出会い